

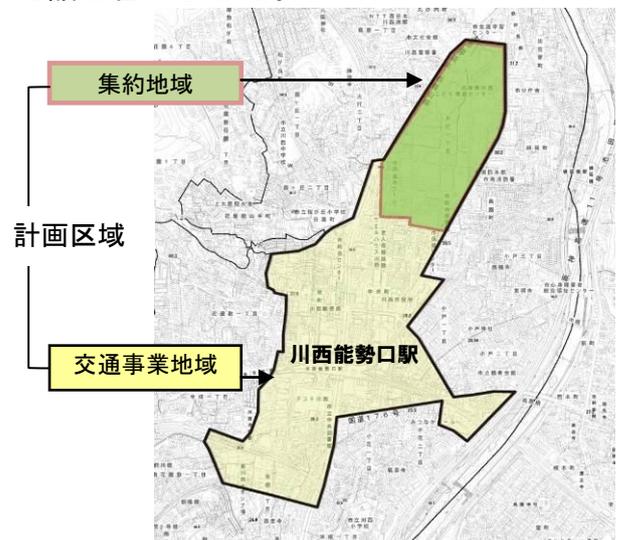
第 8 回エコまち協議会の内容と結果

「キセラ川西ニュース第 47 号」でお知らせしましたように、平成 26 年 11 月 12 日（水）第 8 回エコまち協議会を開催し、「川西市中央北地区低炭素まちづくり計画改定（案）について」及び、「キセラ川西エコまち運用基準」について話し合いました。

これにより、平成 25 年 3 月に策定いたしました「川西市中央北地区低炭素まちづくり計画」について、さらに交通部門に関する本地区と川西能勢口駅との回遊性向上について、より広く取り組みを進めるべく、「川西市中央北地区低炭素まちづくり計画改定（案）」としてとりまとめました。

具体的には、主に右図に示すとおり、計画区域や、それに伴う方針や計画内容等を見直ししています。

（詳細については、以下のパブリックコメントをご参照ください。）

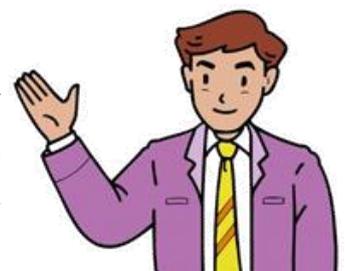


低炭素まちづくり計画の改定（案）パブリックコメント実施について

「川西市中央北地区低炭素まちづくり計画改定(案)」に関するパブリックコメントを実施しています！

平成 26 年 12 月 12 日（金）から平成 27 年 1 月 13 日（火）まで「川西市中央北地区低炭素まちづくり計画改定(案)」に関するパブリックコメントを実施しています。市民等の皆様からの意見をお寄せください。

詳細については、川西市ホームページ [<http://www.city.kawanishi.hyogo.jp>] の「パブリックコメント」のページをご覧ください。



〔問い合わせ先〕川西市 中央北整備部 中央北推進室 地区整備課 TEL 072-740-1207

工事の進捗状況

現在、区画整理区域内で事業計画に基づき順次工事を進めています。

中でも、中央公園内におきまして、雨水貯留槽等の工事を順次進めています。雨水貯留槽は、集中豪雨時に周辺の雨水排水施設の能力を超えた場合に、一時的に雨水を貯留し、平常時に排水する施設です。この施設が完成すると集中豪雨の際も安心です。

このほか、中央公園では災害時等に活用するマンホールトイレ（20基）及び汚水貯留槽（100㎡）や、平常時には、植栽の散水用として、災害時には、生活用水として利用する生活用水貯留槽（190㎡）等の整備を進めています。



写真①



写真②

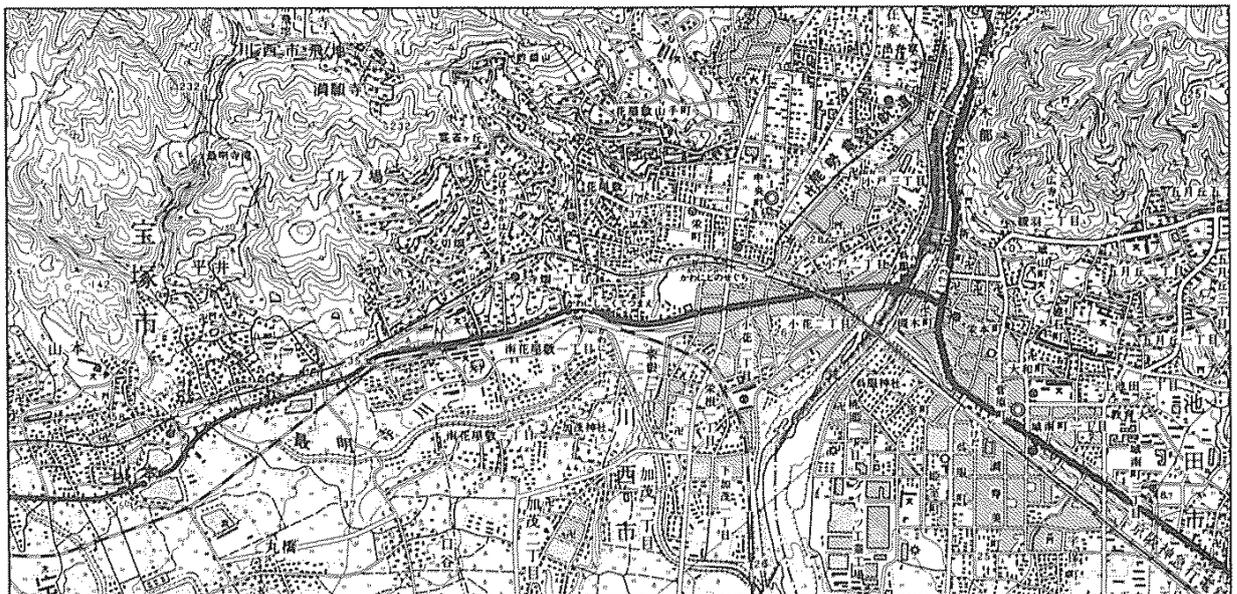
大正2年(1913年)に能勢電気軌道(能勢電)の開通で「能勢口駅」が開設されました。同時に、箕面有馬電気軌道(阪急宝塚線)も「花屋敷駅」と「池田駅」との中間点に、同名の駅を開設しました。「能勢口駅」が二つ隣接してでき、新しいまちの核が形成されはじめます。このとき、能勢電気軌道は阪鶴鉄道(JR福知山線)の「池田駅」に近い「池田駅前駅」まで敷設され終着駅(その後、「川西国鉄前駅」と改名)でした。いずれにしても、駅周辺は野原でした。これでは鉄道経営は利用者が少なく困難な条件での開業といえます。

そこで、箕面有馬電気軌道(現阪急)の創業者であった小林一三は、「乗客は電車が創造する」とし、沿線の地域開発によって人口が増加し、その住民の需要を満たすことに商機を見出す一つとして沿線開発を同時に進め、大阪都心に対する郊外住宅を提唱し、隣の「池田駅」の南側で「室町住宅地」を、明治43年(1910年)に、最初の沿線開発として着手しました。

これに触発されて、川西側では、「能勢口駅」前に「鶴之荘住宅地」の郊外住宅開発が大正3年(1914年)にはじまります。駅から呉服橋にいたる箕電線路の北側の今の小戸2丁目のあたりになります。これは、北豊島村(現在は池田市)の北田栄太郎により開発されました。都会で働き、風光明媚な田園でゆったりと住む生き方を日本にも広めようと、開発総面積約4万坪余を対象に、区画も室町住宅よりも広い戸あたり150坪から200坪、なかには500坪の区画も設けられました。川西における本格的な住宅地経営の先駆といえます。

「能勢口駅」は、たんなる妙見参詣人のための乗換駅ではなく、都市近郊住宅地の駅としての性格をも持ってきました。呉服橋から国鉄池田駅にいたる道路(巡礼道、現在の国道176号)のちょうど真ん中になります。この道に沿って、能勢口駅前から呉服橋の橋詰にかけて、商店や会社が並び、新しい街が形成されはじめました。大正12年(1923年)には、辻にあった川西村役場が、新しいこの街に移ってきます。昔の中央商店街と国道とが交差するあたりです。能勢口駅前がいよいよ川西の繁栄中心となりました。辻の集落は、先に阪鶴鉄道で分断され、川西小学校の敷地拡張でその北半分を失い、これにまた役場をも失ってさびれます。今日ではもう「辻」という地名や「中心」であったことが、多くの市民の脳裏からも消えてしまったようです。

参考：「川西史話」(川西市史編集室)



日本図誌体系 近畿 I (昭和42改)

お知らせ

🌸 中央公園及びせせらぎ遊歩道ワークショップの参加者を募集！！

昨年度は、市民の皆さんの参画のもと『中央公園ワークショップ』を開催し、基本方針と計画図を作成しました。現在、その計画図に基づいて設計や現場施工を進めています。

さて、今年度も、中央公園及びせせらぎ遊歩道づくりに向けてワークショップを開催し、利活用、運営方法などについて話し合っていきたいと思っております。

つきましては、下記のとおり参加者を募集しますので、奮ってご応募ください。

記

- 開催日時：平成27年1月17日(土)、2月7日(土)
3月8日(日)、いずれもAM10:00-12:00を予定
- 募集メンバー：魅力的な公園にしていくための意見・意欲をお持ちの方、公園の管理・運営に興味がある方
- 募集期間：平成27年1月9日(金)まで
- 詳細は、川西市地区整備課(072-740-1207)までお問い合わせください



平成26年度ワークショップで決定した計画図



第102回 川西市中央北地区まちづくり協議会 計画検討委員会の開催お知らせ(協議会員どなたでも参加できます)

日時：平成27年1月13日(火)17:30～ 場所：市役所5階 502会議室

第4回 まちづくり協議会 町名変更検討部会の開催お知らせ

日時：平成27年1月13日(火) 上記終了後 場所：市役所5階 502会議室

建築物の建築などを行う場合、土地区画整理法第76条許可申請・地区計画の届出が必要です。

また、「中央北まちづくり指針」や「低炭素まちづくり計画」等に基づいた建築計画であるかを確認するため、事前に「建築行為等の手続条例」に基づく協議が必要です。(詳しくは、地区整備課 072-740-1207へ)

権利者が死亡され名義変更されていない方や、権利の移動があった場合、住所氏名の変更があった場合はご連絡を。

上記の申告等や「阪神間都市計画事業中央北地区特定土地区画整理事業」について質問などがございましたらご連絡ください。

川西市 中央北整備部 中央北推進室 地区推進課

TEL: 072-740-1214 FAX: 072-740-1330

日時: 午前9時～午後5時半 (ただし、土曜・日曜・祝日は除きます)

HP: <http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/machi/cyuoukitaseibi/index.html>